



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所 東
 コード番号 4393 URL https://www.boi.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 智裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0経営管理部長 (氏名) 河内 三佳 (TEL) 03-4500-2899
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	620	△26.8	△97	—	△98	—	△81	—
2020年9月期第1四半期	847	—	45	—	42	—	26	—

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 △81百万円(—%) 2020年9月期第1四半期 26百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	△20.99	—
2020年9月期第1四半期	6.71	6.70

- (注) 1. 2020年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2021年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	3,043	1,175	38.6
2020年9月期	3,183	1,256	39.5

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 1,175百万円 2020年9月期 1,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

2021年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で適かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 2「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年9月期1Q	3,951,000株	2020年9月期	3,951,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	118,710株	2020年9月期	118,674株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年9月期1Q	3,871,012株	2020年9月期1Q	3,886,865株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 2「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が社会に大きな影響を及ぼし、依然として厳しい状況にあります。しかしながら、「新しい生活様式」のもとで感染拡大の防止策を講じた社会経済活動や各種政策の効果、海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されておりました。しかしながら、感染症再拡大による社会経済活動に与えるリスク、金融資本市場の変動等の影響には注視する必要があります。

当社グループの事業を取り巻く環境においては、2019年の国内ゲームアプリ市場規模は前年比4.1%増の1兆2,140億円と安定した推移が続いております（参考：株式会社KADOKAWA Game Linkage「ファミ通ゲーム白書2020」）。

このような事業環境のもと、当社グループは感染症対策を講じつつ、既存の各タイトルの運営維持、新作の開発及び海外展開に取り組み、2020年10月には「ミトラスフィア」中国本土版の配信が開始されました。また、新規サービスである「恋庭」については、リリースに向け、Twitterを活用したキャンペーンやWebメディアへの掲載等を通じたプロモーションを実施する中、開発が大詰めを迎えつつあります。しかしながら、既存タイトルの売上高減少や新作及び「恋庭」の開発費用増加によって、営業損失を計上するに至りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は620,454千円（前年同四半期比26.8%減）、営業損失は97,383千円（前年同四半期は営業利益45,431千円）、経常損失は98,913千円（前年同四半期は経常利益42,886千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は81,255千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益26,084千円）となりました。

なお、当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,043,864千円となり、前連結会計年度末に比べ139,721千円減少いたしました。これは主に、売掛金が106,761千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,868,329千円となり、前連結会計年度末に比べ58,373千円減少いたしました。これは主に、未払金が17,937千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,175,534千円となり、前連結会計年度末に比べ81,348千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を81,255千円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、「品質最優先」の方針のもと、既存ゲームアプリの長期運営並びに自社IPの育成を行いつつ、高品質の新規のゲーム及びサービス（以下、「新規アプリ」）の開発・運営等によって、数年ごとに年間売上高を数倍規模に引き上げていくことを目指しております。また、当社グループの新規アプリは、自社IPかつ自社開発であることから利益率が高く、ヒットによって大きなリターンを得られる可能性がある一方、開発本数を絞ることによるリスクが存在するものも事実であり、また既存アプリの経年による売上高減少も想定しております。

① 既存ゲームアプリの長期運営

当社は、日本国内においてゲームアプリ「クリプトラクト」及び「ミトラスフィア」の2本を提供しております。いずれもユーザーには長期に渡って楽しんでいただいております。「クリプトラクト」は配信開始から間もなく6年が経過しようとしております。当社は引き続き、ゲーム内外問わず、ユーザーに長く楽しんでいただける施策の投入等を通して質の高いサービスの提供に取り組んでまいります。

② 新規アプリの開発

当社グループは、新規のゲームアプリ2本とスマートフォン向けサービス2本の開発に取り組んでおりますが、いずれも市場調査を行いながら、より高い品質を目指して開発に注力しており、ゲームアプリについては、1本あたり日本国内月額課金高5億円以上のタイトルとなることを目指して開発を進めております。なお、競争優位性の確保の観点から、配信を目指せるフェーズに進むまでの間の情報開示は差し控えてさせていただきます。

③ ゲームアプリの海外配信

当社が掲げる企業理念のロマン（世界で一番「思い出」をつくるエンターテインメント企業）のもと、開発中のゲームアプリ2本は、世界同時配信かつ自社配信（ただし、中国本土等の一部国・地域は除く。）を前提として開発に取り組んでおります。

また、既存ゲームアプリ2本についても、現地のパブリッシャー企業等（以下、「現地企業」という。）との連携により配信又はそれに向けて準備が進められており、「ミトラスフィア」中国本土版については2020年10月22日より配信を開始しております。

本書提出日時点における各サービスの進捗状況は以下のとおりであります。

【自社配信】

	「ミトラスフィア」	「クリプトラクト」	新作RPG①	新作RPG②
日本	配信中	配信中	開発中	開発中
海外（中国本土等の一部国・地域を除く。）	他社配信のため該当なし		開発中	開発中

【他社配信】（※1）

	「ミトラスフィア」	「クリプトラクト」	新作RPG①	新作RPG②
中国本土（※2）	配信中	2021/9 上期 配信予定	検討中	検討中
台湾・香港・マカオ（※2）	配信中	配信中	自社配信前提のため該当なし	
英語圏	契約締結済 (配信開始時期未定)	配信終了		
その他海外	配信中	—		

※1 他社配信による海外展開においては、当社と現地企業との間で締結した契約に基づき、当社はゲームアプリ開発に必要なデザイン及びソースコード等を現地企業に提供し、現地企業によりローカライズ開発・運営が行われております。

※2 当社と現地企業との間で締結した契約に基づき、売上に対する一定割合の金額を当社のロイヤリティとして受け取ることとなっておりますが、現地企業からの収益報告には一定の期間を要することから、当社では収益発生月より数カ月遅れで収益計上を行うこととしております。

さらに中国本土版に関しては、将来収益となるリリース後に発生するレベニューシェアのうち、一定額がミニマムギャランティとして事前入金される契約となっております。当該ミニマムギャランティの一部について2019年9月期に入金がありましたが、当該入金額はレベニューシェアに応じた金額を収益化していくものであるため、当第1四半期連結累計期間末日時点においては前受金として流動負債の「その他」に計上しております。

なお、2020年10月より配信を開始しているミトラスフィア中国本土版の売上については、第2四半期会計期間より計上を開始する予定であります。

④ 新規サービス「恋庭」

株式会社バンク・オブ・イノベーションでは、2019年11月の設立当初より新規事業の立上げを目指して2つのサービスの開発を進めてまいりました。そのうちの1つについて、「恋庭」として「ゲーム×マッチング」サービスを新たに開始することを2020年9月18日に公表すると同時に事前登録を開始し、2021年2月28日までの配信開

始予定で開発の最終段階まで進めておりました。しかしながら、2021年1月に実施した当社グループ内でのクロズドβテストの結果を考慮し、配信開始時期（予定）を変更いたしました。詳細につきましては、2021年2月2日公表「当社子会社の新規サービス『恋庭』の配信開始時期変更に関するお知らせ」をご覧ください。

引き続き、皆様により楽しんでいただけるサービスを提供できるよう開発を進めてまいります。

連結業績予想については、当社グループが属する業界の変化が激しいこと、また機動的な投資判断を実施することから、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であり、具体的な予想値は非開示とさせていただきますが、当社は上記の取り組みを通してさらなる成長を目指してまいります。なお、情報利用者をミスリードさせることのない適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能となった時点で速やかに開示する方針であります。

また、本書提出日時点における新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は軽微であります。今後、当社グループの業績等に重要な影響を及ぼす変化が観測された場合には、適時開示にてお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,483,665	2,489,613
売掛金	367,898	261,137
その他	156,774	120,363
流動資産合計	3,008,339	2,871,113
固定資産		
有形固定資産	8,878	8,551
無形固定資産	1,802	1,676
投資その他の資産	164,565	162,522
固定資産合計	175,247	172,751
資産合計	3,183,586	3,043,864
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	528,372	500,324
未払金	161,982	144,044
その他	235,801	157,211
流動負債合計	926,156	801,579
固定負債		
長期借入金	1,000,547	1,066,750
固定負債合計	1,000,547	1,066,750
負債合計	1,926,703	1,868,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,943	490,943
資本剰余金	468,383	468,383
利益剰余金	491,571	410,316
自己株式	△194,015	△194,108
株主資本合計	1,256,883	1,175,534
純資産合計	1,256,883	1,175,534
負債純資産合計	3,183,586	3,043,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	847,230	620,454
売上原価	630,928	616,200
売上総利益	216,302	4,254
販売費及び一般管理費	170,870	101,637
営業利益又は営業損失(△)	45,431	△97,383
営業外収益		
受取利息	2	1
助成金収入	—	2,302
その他	4	16
営業外収益合計	7	2,320
営業外費用		
支払利息	1,989	2,887
支払手数料	563	964
営業外費用合計	2,552	3,851
経常利益又は経常損失(△)	42,886	△98,913
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	42,886	△98,913
法人税等	16,801	△17,658
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,084	△81,255
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	26,084	△81,255

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,084	△81,255
四半期包括利益	26,084	△81,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,084	△81,255

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用等については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について

当該感染症に関する状況は日々刻々と変化しておりますが、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定についての重要な変更はありません。

なお、本書作成時点で入手可能な情報に基づいて最善の見積りを行っておりますが、今後の実際の推移が仮定と乖離する場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を与える可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。